

IIDA CITY
広報 **いいだ**

2024
(令和6年)

11

No.1189



特集

知ってほしい、医療的ケア児
～地域の中でみんな一緒に～

ぼくがとったエビ見てね

【かわらんべ 水辺の楽校】

医療的ケアが必要なこどもも、地域や
小学校で友だちと一緒に遊び、学べる
環境をつくっていきます。

知ってほしい、医療的ケア児

～地域の中でみんな一緒に～

私たちの身近には、人工呼吸器や胃ろう（手術によって腹部に小さな穴を開け、胃ろうカテーテルと呼ばれるチューブをその穴に通し、胃へ直接栄養を送る装置）等を使用し、たんの吸引、経管栄養、導尿などの医療的ケアが日常的に必要な子どもたち「医療的ケア児」が暮らしています。

多くの医療的ケア児は社会参加がとても難しく、制限があります。地域で生活していくためにはさまざまな支援が必要で、その支援の相談を受け調整するために令和6年度から飯田下伊那地域でも「医療的ケア児等コーディネーター」を配置しました。今回の特集では、医療的ケア児の暮らしや学びをご家族や周囲の方々のインタビューをもとに紹介します。

みんなと一緒に、障がいの有無によって分け隔てられることなく、お互いに人格と個性を尊重し、支え合い、誰もが地域社会の一員として「健やかにいきいきと暮らせるまち」にしていきたいと思います。

問い合わせ：福祉課障がい福祉係 内線5715



医療的ケア児の暮らし

市内在住 Aさん姉妹

姉妹ともに「異染性白質ジストロフィー^{りかん}」に罹患しています。姉は人工呼吸器・胃ろうを使用し、妹は胃ろうを使用、2人とも移動には車椅子などを使用しています。平日は飯田養護学校に通い、授業終了後には放課後等デイサービスを利用、帰宅後は訪問看護師のケアを受けています。姉妹のお母さんに話をうかがいました。

障がいがあるとわかったきっかけ

上の子が、歩くことやできることが遅かったので、2歳を過ぎた頃に調べたら難病があることがわかり、心配で下の子ども調べたら同様の病気でした。妊娠中も、生まれた時も病気があるとは分からなかったため、分かった時はショックでした。聞いたこともない難病だったし、普通に生まれてきたと思っていたので、これから障がいのある2人の娘をどう育てていけるのかと不安に思いました。



普段の生活

上の子は気管切開（のどに穴をあけること）をして、人工呼吸器を装着できるようになり、体調も落ち着いたので、毎日学校に通えるようになりました。自発呼吸もできるので、短時間であれば人工呼吸器を外せます。

下の子も胃ろうを使っています。感情表現ができ、筋緊張が強く入ることがある（体が突っ張ってしまう）ので姿勢を変えたり、好きなアニメを見て筋緊張をほぐしています。

学校への送迎は、人工呼吸器が必要な上の子を助手席、下の子を後部座席に乗せて車で送ります。帰宅後は訪問看護師さんのケアを受け、訪問入浴のサービスを利用しています。

食事は、胃ろうから注入します。私が作ったご飯やフルーツ、デザートもミキサーにかければ注入できるので、季節に合った食べ物を家族と一緒に楽しんでいます。お誕生日や時間に余裕がある時は、口から少量のプリンを食べることもあります。



看護師による体温測定（姉）

知ってほしい

先日、一時的な停電があったのですが、近所の方がバッテリーと懐中電灯を持って駆けつけてくれました。私たちのことを気にかけて、駆けつけてくれた気持ちがとても嬉しかったです。地域の中に「障がいのある子どもがいる」ということを知ってもらい、いざという時に手を貸していただける状況があると安心して生活ができます。



これからのこと

災害時や学校を卒業した後の生活をどう過ごしていくのか不安に感じています。飯田下伊那には医療的ケアが必要な人が長期入所できる医療型の施設がなく、在宅や通所サービスを利用して過ごしていくと思うのですが…。

私たちにも分からないことが多くあるので、養護学校の先生、福祉事業所の皆さん、行政の方々、地域の方々と相談しながら考えていきたいと思っています。

上の子は病気の進行により表情が少なくなってきましたが、声を掛けると私たちの方を見てニコツとしてくれるような気がするし、下の子は大きく口を開けて声を出して笑うこともあります。娘たちのそういう顔が見られる瞬間がやっぱり嬉しくてかわいいので頑張ろうと思えます。

娘たちは難病を患い、生きていくため、生活していくためには障がいもありますが、それも含めて私たち家族の形だと思っています。悲しんで暗くしていても仕方がないので、娘たちが穏やかに過ごせるように、地域の中で、私たちも笑顔で明るく暮らしていきたいです。

娘たちとの笑顔の時間を1分、1秒でも大切にしていきたいです。



チューブからゼリーを食べる（妹）

副学籍で学ぶ

飯田市では、特別支援学校で学ぶ子どもたちが、居住する地域の小中学校にも籍を置き、小中学校の子どもたちと、学校行事や学習などに共に取り組む「副学籍」による交流および共同学習を推進しています。子どもたちが地域で共に学び合い、互いを理解し尊重しながら育っていく中で、将来にわたって地域や仲間との温かなつながりを持ち続け、認め合って暮らせるようにとの願いを込めています。



同級生と水の生き物探し! (中央がBくん)

三穂地区在住 Bくん

4歳から導尿の医療的ケアを受けています。保育園年長時にこども発達センターひまわりから三穂保育園に転園しています。今は飯田養護学校に通い、三穂小学校にも「副学籍」を置いています。



Bくん 母

息子は、生まれた時から病気がありましたが、「地域の友達と共に育ってほしい」と思い、地元の三穂保育園を卒園し、三穂小学校に副学籍を持ち、学校行事やお楽しみ会などがある日に通っています。

音楽会の練習にも参加し、音楽会当日はお友達と共に発表のステージにも立ちました。

また、地元のイベントにも参加し、学校での交流のほかにも地域の人たちと関わる経験もしています。他の子と変わらず、見かけたら気軽に声をかけてほしいと思います。



三穂小学校長

クラスの子たちはBくんのことを自分たちの仲間だという意識で関わっています。あいさつはもちろん、名前を呼び合いハイタッチするなど、楽しいことを教え合うような温かい関わりが自然と生まれています。

住んでいる地域に仲間がいることが本人にとって心の支えになり、大人になってもつながる地域の仲間になると思うので、一緒に過ごす機会を大事にしたいと思っています。

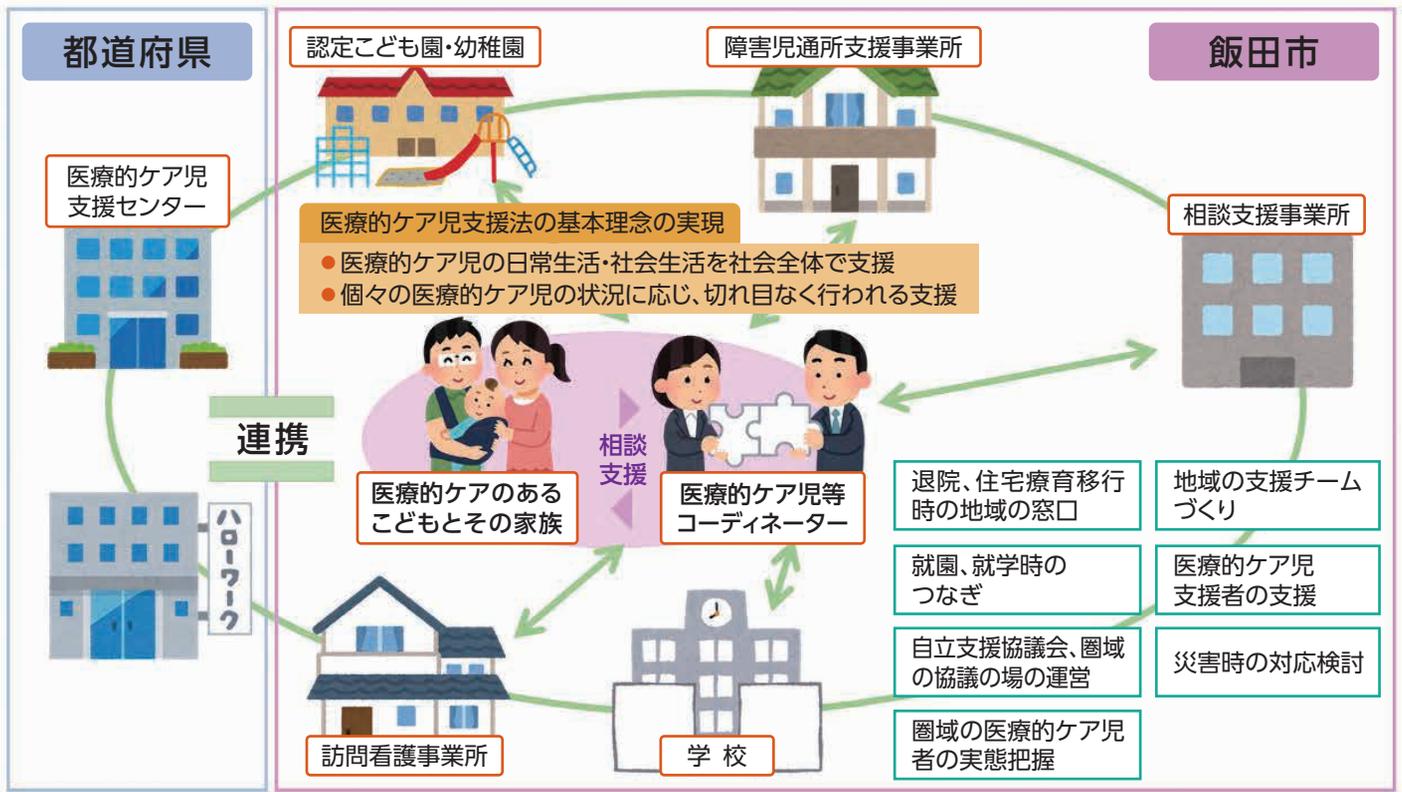


三穂保育園長

友だちと同じ場所で生活していく中で、表情もだんだん豊かになってきました。運動会や遠足、年長特別保育にも参加し、「楽しかった」「うれしかった」「悔しかった」「悲しかった」などの感情を友だちと分かち合い、自然と仲間意識も育ってきました。卒園式の日には親指でグー!とアピールをして門を出ていく姿はずいぶんたくましくなっていました。これからもさまざまな人と関わりながら力強く育ってほしいと願います。

医療的ケア児等コーディネーター

令和6年4月から、医療的ケア児等（大人も含む）の支援を総合的に調整する専門職「医療的ケア児等コーディネーター」を飯田市子ども発達センターひまわりに配置しました。生活の場を中心に、本人やご家族への支援がスムーズに行われるように、支援者への支援、関係機関とのスムーズな連携や業務調整、地域の体制整備を行います。



※子ども家庭庁資料より飯田市にて一部加工

私たちが、医療的ケア児等コーディネーターです



丸山 晃治

医療的ケアを日常的に必要とされる本人やご家族が、安全安心に地域生活を送り続けられるように、関係機関などと協力しながら取り組んでまいります。どんなことでも結構ですのでご相談ください。



松本 香織

◎連絡先／飯田市子ども発達センターひまわり ☎0265(23)6097

令和6年度 市政功労者表彰

市政の各分野で顕著な功績のあった個人や団体を表彰する
市政功労者表彰式を10月1日(火)に行い、市長から表彰状、感謝状を贈りました。

表彰状を受賞された皆さま



感謝状を受賞された皆さま



◎当日の式典にご出席いただいた皆さま

表彰状を受賞された皆さま

(敬称略、順不同)

大場 孝	…自治会長を永年務められた	木下 晶子	…福祉委員を永年務められた
加藤 高峰	…自治会長を永年務められた	熊澤 正夫	…福祉委員を永年務められた
桐山 忠彦	…自治会長を永年務められた	杉山 伸幸	…福祉委員を永年務められた
竹内 文隆	…自治会長を永年務められた	多田 雅幸	…福祉委員を永年務められた
牧野 修	…自治会長を永年務められた	古田 浩子	…福祉委員を永年務められた
櫛原 綱由	…地域協議会委員を永年務められた	小林 正明	…都市計画審議会委員を永年務められた
塩澤みどり	…地域協議会委員を永年務められた	牧内 享子	…赤十字奉仕団委員長を永年務められた
伊東 義美	…地域協議会委員を永年務められた	増田 綾子	…公民館運営審議会委員を永年務められた
梨子田公登	…地域協議会委員を永年務められた	桑原 利彦	…公民館運営審議会委員を永年務められた
宮崎 栄治	…地域協議会委員を永年務められた	古島 哲雄	…学校医を永年務められた
清野 洋	…男女共同参画推進委員を永年務められた	村松 徳文	…学校医を永年務められた
上沼 俊彦	…再生可能エネルギー導入支援審査会委員を永年務められた	宮澤 眞	…学校歯科医を永年務められた
竹ヶ原啓介	…再生可能エネルギー導入支援審査会委員を永年務められた	牛木 猛雄	…学校歯科医を永年務められた
中島 大	…再生可能エネルギー導入支援審査会委員を永年務められた	松村 義雄	…学校薬剤師を永年務められた
長谷川隆三	…再生可能エネルギー導入支援審査会委員を永年務められた	浅野純一郎	…都市計画審議会の専門委員を永年務められた
水上 貴央	…再生可能エネルギー導入支援審査会委員を永年務められた	鈴木 弘司	…都市計画審議会の専門委員を永年務められた
諸 富 徹	…再生可能エネルギー導入支援審査会委員を永年務められた	今村 良子	…地域の環境保全活動に永年尽力された
		滝沢 具幸	…美術博物館館長を永年務められた

感謝状を受賞された皆さま

(敬称略、順不同)

株式会社一真堂	…教育振興のため多額の寄附をされた
株式会社ウォーターエージェンシー	…産業振興のため多額の寄附をされた
神稲建設株式会社	…教育および児童福祉の増進のため多額の寄附をされた
笹本 千草	…文化振興のため菱田春草作品および資料の寄附をされた
滝沢 具幸	…文化振興のため滝沢具幸作品の寄附をされた
松尾 陽作	…文化振興のため木下義謙作品他の寄附をされた
松下 祐輔	…歴史研究のため多額の寄附をされた
松尾常盤台区	…地域振興のため多額の寄附をされた
株式会社綿半ドットコム	…産業振興のため多額の寄附をされた
綿半トレーディング株式会社	…産業振興のため多額の寄附をされた
株式会社綿半ホームエイド	…産業振興のため多額の寄附をされた
株式会社綿半林業SH	…産業振興のため多額の寄附をされた
前田 雄二	…鼎地区まちづくり委員会会長を務められた
近藤 力夫	…南信濃まちづくり委員会会長を務められた

※このほか、匿名を希望されているお2人は掲載を控えております。



第70回 風越山トレイルマラソン大会 秋晴れの風越山を駆ける



トレイルランの部「石灯籠コース」のスタート



トレイルランの部「白山社コース」男子表彰式

10月14日、スカイランナーの秋山穂乃果さん、ランニングYouTuberの三津家貴也さん、飯田市産業親善大使のニッチローさんをゲストに迎え、387人のランナーが走りました。白山社コースに参加した三津家さんは「自然を感じながら、気持ちよく走ることができた」と話していました。なお、70回を期に、今大会から名称を変更しています。

よこね田んぼ稲刈り、収穫祭 存分に魅力を味わう



稲刈りには約160人が参加



作業後は飯田名物「出前焼肉」

農林水産省が選ぶ「日本の棚田100選」の千代のよこね田んぼで、地元保存会の指導を受けながら、9月28日、稲刈り体験と収穫祭を行いました。

棚田オーナーや移住希望者も参加し、初めて参加した東京の若者は「田舎暮らしに興味があり参加した。稲刈りは初めての体験で楽しかった」と話していました。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。
ぜひご覧ください。

QRを
スキャン



Instagram

エコパーク・ジオパークフェア 南アルプスの魅力



遠山の霜月祭の舞 (程野地区)

9月22日、「南アルプスユネスコエコパーク」と「南アルプス (中央構造線エリア) ジオパーク」の魅力発信のため、市内の商業施設で上村地区、伊那市、大鹿村の特産品販売、伝統芸能披露を行いました。

麻績の里舞台校舎竣工150年記念 『さくらと舞台桜』上演



ライトで桜が咲いているような演出

9月21日～23日、舞台桜や桜守を題材にした劇の上演がありました。演じたのはオーディションで選ばれた地元の小学生から60代までの16名。4カ月間稽古を重ね、全4公演を見事に演じきりました。

純国産メンマサミット おいしく食べて竹林整備



市内の竹林整備に関わるパネリストの皆さん

10月13日にエス・バードで開催し、約500人が参加しました。全国各地のクラフトメンマや創作メンマ料理、竹による地域おこしの事例が紹介され、竹の可能性について考える機会となりました。

敬老祝賀訪問 いつまでもお元気で



鼎地区在住の本田さん (100歳)

9月12日、本田さん宅を市長などが訪問し、長寿を祝いました。本田さんは「健康の秘訣は孫と話すこと」と元気に話してくださいました。9月1日現在、今年度100歳を迎える方は71名いらっしゃいます。

現代版 養生訓

脳神経外科
猪俣裕樹 医師

脳卒中の早期発見、早期受診、予防

「昨日までは何事もなかったのに、片側の手と足が動かなくなりました。」

脳卒中は突然生じてしまい重い後遺症が残ってしまうことも多いです。

「これまで大病をしたことがなくて病院へ通ったことがない。」

そんな方でも知らないうちに高血圧症、脂質異常症、糖尿病、心房細動などの疾患が隠れており、脳卒中を生じてしまうこともあります。

脳卒中とは、脳の血管が詰まり脳組織が壊死する「脳梗塞」、脳の血管が破綻し脳内に出血する「脳出血」、多くは脳動脈瘤の破裂により起こる「くも膜下出血」のことを主に言います。脳梗塞や脳出血では、左右どちらか一方の手足が動かなくなる、言葉がでない、ろれつが回らないなどの体の異変が突然生じることが多いです。

特に脳梗塞については、カテーテルという細い管を使用して脳の血管の詰まった部分を再開通させる

「血栓回収療法」が近年発展してきており、できる限り早く治療を行うことでこれらの症状の改善を目指せます。ただ、脳梗塞の状態によって全ての方にこの血栓回収療法が行えるとは限らないため、基本的には点滴や内服治療、リハビリテーションを行って治療をしていきます。再発予防、症状が改善するように治療を行います。

脳卒中はしっかりと治療を行っても重い後遺症が残り、寝たきりとなってしまう人も多いです。

万が一皆さんの周りに突然手足が動かない、言葉がでなくなったなど様子がおかしい人がいる場合は、脳卒中の可能性があるのですぐに救急車を呼んでもらうことで、その人を救える可能性があります。

また脳卒中の発症を予防するために、まずは地域のかかりつけの病院へ定期的な通院をする、健康診断を受けるなどの習慣をつけることも大切です。

飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

休日や夜間に急な病気やケガをした時は

〈飯田下伊那の救急医療体制〉

夜間は(毎日)

- 休日夜間急患診療所(内科・小児科) …… 19:00~22:00

休日は(日曜日・祝日・年末年始・お盆)

- 休日夜間急患診療所(内科・小児科) …… 9:00~12:30
- 在宅当番医(内科・小児科・外科・産婦人科) …… 9:00~18:00(産婦人科は12:00まで)

土曜日は(かかりつけ医)

- 午後休診となる医療機関が多いので、かかりつけ医が休診のときは
休日夜間テレフォンセンター(☎0265(23)3636)へお尋ねください。

重篤な症状の場合は

- 輪番制二次病院(内科・外科)に救急搬送

問い合わせ

- 飯田市休日夜間急患診療所(飯伊地区包括医療協議会) ☎0265(23)3636
- 保健課 地域医療支援係 内線5541

在宅当番医の
受付時間は
電話でご確認
ください。